

日本声楽発声学会
2016年度 夏季研修会

日 時：平成28年（2016年）8月22日（月）

午前10時55分 開始（受付10時30分）

場 所：日本福音ルーテル東京教会（新大久保駅下車）

東京都新宿区大久保1-14-14

（会場への電話はご遠慮ください）

ご挨拶

酷暑の候、夏季研修会に多くのご参加をいただき誠にうれしく存じます。恒例では2日をかけて研修会を開催しておりますが、諸般の都合上、今回は1日だけの研修会となりました。脳生理学から見た音声・ことばの成り立ち、イタリア音楽の詩と歌からそのご研究の真髓を、また作曲家自身の作品から直々説明を受けながらのレッスン形式での演奏体験、というそれぞれの先生方の分野からプログラムを企画いたしました。充実した研究会となりますようお願いしております。

会長 永井和子

総司会 鈴木慎一郎（理事）

開会挨拶 永井和子（10：55～11：00）

A 講座 「音声科学講座」 11：00～13：00 司会 竹田数章

会場 1階会議室
講師 岡田安弘氏（おかだ やすひろ）
専門分野 脳神経科学、脳生理学、生命科学、生命の哲学
演題 『脳の働きと音声』

概要

私たちが聴いている人の話し声や、音楽の音はどのようにして私たちの心に響くのでしょうか。また美しい歌声はどのように発せられるのでしょうか、そして心像（心のイメージ）として響くのか、さらに私たちが発する音声や歌がどのようにして発せられるのか、最近の脳研究の成果を紹介しながらやさしく説明したいと思います。うまくしゃべれること、美しく歌うことが、脳と体の複雑で不思議な働きによって生み出されていることに驚かれるでしょう。

B 講座 「演奏と講演」 14：00～16：00 司会 永井和子

会場 2階礼拝堂
講師 森田 学氏（もりた まなぶ）
専門分野 Bass 歌手 イタリアのことばと音楽
講演題目 『イタリアの詩と歌』
演奏曲目 ドニゼッティ作曲 詩：ダンテ『神曲・地獄篇第33歌』より
＜ウゴリーノ伯爵＞
伴奏 山岸茂人氏（やまぎし しげと）

概 要

オペラを生み出したイタリアの歌の魅力と言え、何よりもまずベルカント唱法に則って出された「声」にあることに異論を唱える者はいないだろう。その一方で、オペラが誕生した際の理念が「recitar cantando（字義的に、歌いながら演じること）」であることや初期のオペラ作品を指す名称が「Dramma per musica（字義的に、音楽を介した劇）」だったことを見れば、音声としての歌声の技だけではなく、演劇ジャンルの1つであるオペラにおいても、セリフをいかに発するか（表現するか）にも重きが置かれていたことが伺える。オペラを含むイタリア語の歌詞を持つ声楽曲のテキストはほぼ韻文で書かれている。また、イタリアのみならず古典文学史上の最高傑作の1つであるダンテ『神曲』の各章は「canto カント」と呼ばれ、かつては詩句と歌に同じ単語が使われていたことも示唆的である。本講演では、声楽家が演奏解釈に役立てることのできる、教養としてのイタリアの詩と歌をめぐってさまざまな話をして行きたい。

C 講座 合唱曲及び歌曲の作曲者自身による公開レッスン

16:15~18:15

司会 川上勝功

会 場 2階礼拝堂

講 師 新実徳英氏（にいみ とくひで）

講座内容 新実徳英先生の声楽作品から、合唱曲及び歌曲集「花に寄せて」を課題曲とし、合唱とソロ各々に、作曲家の立場からのレッスン形式で行います。

- 1) ソロ演奏： 星野正人（テノール）、ピアノ伴奏：高橋美佐子
受講曲目：「花に寄せて」より、Ⅲ しおん、Ⅶ ばら・きく・なずな 一母に捧ぐ
- 2) ソロ演奏： 小林寿和子（ソプラノ）、ピアノ伴奏：黒田圭子
受講曲目：「花に寄せて」より、Ⅴ てっせん・どくだみ、Ⅵ みょうが
- 3) 女声合唱： ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア
指 揮： 川上 勝功、ピアノ伴奏：早川 揺理
受講曲目：「花に寄せて」より、
Ⅰ たんぽぽ、Ⅱ ねこじゃらし、Ⅳ つばき・やぶかんぞう・あさがお

閉会挨拶 川上勝功

2016年（平成28年）104回例会の予定

日時： 2016年11月27日（日）9：55～16：30

会場： 東京藝術大学

1. 会員による研究発表

- ① 水越美和：「マヌエル・ガルシア（1805-1906）の声乐教師としての活動にみる、ガルシア家の継承」
- ② 豊田喜代美・工藤和俊：「姿勢と歌唱の関係 -身体運動科学からの接近-」
- ③ 未定（募集中）

2. 特別講演：音声生理学講座

講師：文珠敏郎氏（文珠耳鼻咽喉科医院長 医学博士）

3. 現役声楽家の演奏とお話

講師：小濱妙美氏（伴奏者：椎野伸一氏）

（東京藝術大学及び同大学院修了。現在京都市立芸術大学教授。世界の主要オペラ劇場にて主要なオペラのタイトルロールを数多くご出演なさっておりますソプラノ歌手の演奏をご期待ください。）

声楽発声学会事務局 住所：

151-0073 東京都渋谷区笹塚1丁目2番11号 フィガロ302

Tel/Fax：03-6804-7047（学会新事務局）

（学会メールアドレス） jars.office@gmail.com

振込口座

郵便振替番号：00170-0-119920 日本声楽発声学会

日本声楽発声学会 夏季研修会プログラム

2016年（平成28年）8月22日発行

発行者：日本声楽発声学会

編集者：永原恵三

印刷所：よしみ工業株式会社東京事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル 3F

プロフィール

岡田安弘氏

1962年神戸大学医学部卒業。東京大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士。(定年退官後)京都大学大学院文学研究科、修士課程・博士課程(哲学)修了。文学修士。神戸大学名誉教授。活動歴は、神戸大学卒業後、横須賀米国海軍病院にてインターン研修員として研究、その間に東京大学大学院医学研究科に在籍、博士課程を修了し、医学博士の称号を取得。その年に東京大学医学部脳研究所研究員として勤務、米国ワシントン大学医学部研究員、ドイツ連邦共和国マックスプランク脳研究所の客員教授、帰国後、神戸大学医学部教授に就任、脳神経科学、生理学の教授として勤務。1999年退官、神戸大学名誉教授の称号をうける。

約40年間、脳の研究に専念した後、京都大学の哲学科に入学、生命における科学を哲学の方面から研究、修士課程、博士課程を終え文学修士を取得。現在は、兵庫県の健康科学センターや、加古川脳神経・認知リハビリテーション研究センターで、講義を週に数回行っている。

著書に、『21世紀の生命を考える』、『生命・脳・いのち』、『生命科学』、*Problems in GABA Research* (編著)、『臨床神経学』(英語訳)、『神経生物学概論』(ドイツ語訳)、*The Role of Adenosine in the Central Nervous System* (編著)。『脳神経科学』(共著)、『生理学』(共著)などがある。

森田学氏

香川県高松市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。原田茂生、ルイーザ・マラリャーノ、エンツォ・コンスーマに師事。1997年、ロッシェニ《オリ伯爵》家庭教師役でオペラ・デビュー(E, マッツォーラ指揮)。これまで、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ劇場(アウディトリウム)シーズン公演《コシ・ファン・トゥッテ》ドン・アルフォンソ役(全6回公演)、新国立劇場小劇場PITオペラ《友人フリッツ》アネゾ役、メキシコ『セルバンテス芸術祭』オープニング公演《夕鶴》惣ど役などを演じている。オペラのみならず歌曲や宗教曲の演奏も行っており、二期会イタリア歌曲研究会の演奏会などでイタリア歌曲の普及に努めている。また、演奏活動と共に研究・教育活動にも携わっている。97年よりボローニャ大学大学院やバガニーニ研究所においてイタリア声楽曲のことはと音楽の関係を中心に研究し2003年に帰国。イタリア語や音楽関係の著書も多数ある。<http://piazzamanin.jugem.jp/>。
現在、二期会イタリア歌曲研究会、東京音楽大学、国立音楽大学・大学院講師。

山岸茂人氏

東京芸術大学音楽学部楽理科卒業、同大学大学院(音楽学専攻)修了。在学中に安宅賞受賞。古典から近代にわたるイタリア歌曲を嶺貞子氏に学ぶ。声楽の伴奏者として多くの著名な歌手と共演現在、二期会イタリア歌曲研究会ピアニスト。

新実徳英氏

東京大学工学部卒、東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。東京音楽大学客員教授。77年ジュネーヴ国際パレエ音楽作曲コンクールにて史上二人目のグランプリ並びにジュネーヴ市賞受賞。82年文化庁舞台芸術創作奨励賞。84年文化庁芸術祭優秀賞。IMC入選。2000年第18回中島健蔵音楽賞。03年別宮賞。04年CD「風神・雷神」が文化庁芸術祭大賞。05年万博記念オペラ「白鳥」が名古屋にて世界初演、この公演に佐川吉男音楽賞。06年オーケストラ・アンサンブル金沢コンポーザー・イン・レジデンスに就任「協奏的交響曲へエランヴィータル」を世界初演し第55回尾高賞。管弦楽作品の多くはNHK交響楽団を初め国内主要オーケストラで、海外でもスイス・ロ

マンド、オランダ放送、BBC スコティッシュ、フランス国立放送、ベルリン、ニュルンベルグ等のオーケストラにより演奏され高い評価を得ている。器楽、室内楽、邦楽、合唱作品等多数。詩人谷川雁との共作「白いうた 青いうた」全53曲、詩人和亮一の「詩の礫」をエディットした「つぶてソング」全12曲は特に広く歌われている。『弦楽四重奏曲第2番 asura』（カメラータ）ほかCD多数。6月に『A.E. あるいは希望をうたうこと』（アルテスパブリッシング）が刊行。

2016 年夏季研修会参加要項

夏季研修会の聴講料及びC講座のレッスン受講料は次の通りです。

◎ A、B、C 講座の聴講料

(3 講座すべて事前申込した場合は料金が 2 割引になります。)

	正会員	学生正会員	臨時会員	高校生以下
1 講座のみ	2,000 円	1,000 円	3,000 円	500 円
2 講座のみ	4,000 円	2,000 円	6,000 円	1,000 円
3 講座全て	4,800 円	2,400 円	7,200 円	1,200 円
当日料金	6,000 円	3,000 円	9,000 円	1,500 円

◎ A、B、C 講座 聴講の申込方法

※事前振込の締切 8月15日(木)迄(以降は、当日受付にて上記の当日料金をお支払いください)

聴講の申込は、ゆうちょ銀行の払込取扱票(青色)にて00170-0-119920(加入者名:日本声楽発声学会)へ、見合った金額をお振込みください(振込料は各自ご負担ください)。通信欄に、①どの講座(A、B、C)を聴講されるか、②会員種別(「正会員」、「学生正会員」、「臨時会員」、「高校生以下」)のどこに属するか、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。聴講料の払込をもって参加の申込とさせていただきます。

◎ C 講座のレッスン受講料と申込方法

合唱団(40分) 10,000円、ソリスト(各40分)、会員 4,000円、非会員 6,000円

伴奏者は基本的に同伴していただくこととなりますが、学会側の準備した伴奏者を希望される場合は、当日伴奏者へ直接3,000円をお支払いください。

レッスン希望者は、7月30日までに新しい学会事務局へ郵送かメール、ファックスでお申し込みください。その際、伴奏者の同伴有無(同伴、あるいは学会へ依頼)、ソロの場合は受講希望曲を明記してください。電話での申込は受付けませんので、ご了承下さい。受講者決定後、事務局よりご連絡いたします。